



ほこた市

平成28年4月30日発行

No.43



議会だより



平成28年第1回(3月)定例会

平成28年第1回定例会の概要 P2
各議員の賛否 P3
提出議案と審議結果 P2~3
平成28年度予算概要 P4
予算特別委員会 P5~6
平成28年第1回定例会 主な質疑/主な討論	... P7~8
会派代表者質問 P9
ここが聞きたい! 一般質問 P10~16
主な議会の動静 P16
活動報告 P17~19
傍聴者の声	平成28年第2回(6月)定例会の予定 ... P20

銚田市立銚田北小学校 入学式



平成28年第1回定例会の日程

3月2日(水)	本会議 ・開会 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・諸般の報告 ・施政方針並びに市長提出議案の説明
3月7日(月)	本会議 ・会派代表者質問
3月8日(火)	本会議 ・一般質問
3月9日(水)	本会議 ・一般質問
3月11日(金)	本会議 ・市長提出議案の質疑・討論・採決(平成28年度当初予算案以外) ・議員提出議案の提案説明・質疑・討論・採決 ・予算特別委員会 ・予算特別委員会 ・予算特別委員会 ・経済建設常任委員会 ・総務企画常任委員会 ・厚生文教常任委員会 本会議
3月14日(月)	・市長提出議案の質疑・討論・採決(平成28年度当初予算案)
3月15日(火)	・請願第28―1号の委員長報告・質疑・討論・採決
3月16日(水)	・閉会
3月18日(金)	
3月22日(火)	
3月24日(木)	

第1回定例会の概要

平成28年第1回定例会は、3月2日から3月24日までの23日間の会期で行われました。

議案は、市長から平成28年度一般会計及び各特別会計等の予算や平成27年度一般会計等の補正予算、行政不服審査会条例の制定などの条例案、訴えの提起、市道路線の変更、財産の取得、農業委員会委員の任命についてなどが提出されました。

議員からは北関東防衛局へ再編交付金交付延長などを求める要望書の提出についてが提出され、平成28年度一般会計予算に対しては、市民交流館関連予算を削除する修正動議も提出されました。

一般質問は、11人の議員から通告があり、(仮称)銚田市民交流館についてや地域産業振興施策について、ラムサール条約湿地涸沼について、メロンサミットについて、北浦の水質の現状と対策について、市民の健康づくりについて、デマンドバスの運用追加について、高齢者介護の問題、介護保険住宅改修費の受領委任払い制度についてなどの質問が行われました。

委員会は、予算特別委員会を設置し、平成28年度予算の集中審議を行いました。また、総務企画常任委員会、厚生文教常任委員会では所管事務の調査を行い、経済建設常任委員会では付託された請願の審査や所管事務調査を行いました。

今回の定例会では、市長提出の56件の全議案及び議員提出の1件の議案が可決され、平成28年度一般会計予算の修正案は否決されました。1件の請願は継続審査となりました。

提出議案と審議結果

平成28年第1回銚田市議会定例会

平成28年度予算

- ▲平成28年度銚田市一般会計予算修正案
- 平成28年度銚田市一般会計予算
- 平成28年度銚田市国民健康保険特別会計予算
- 平成28年度銚田市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成28年度銚田市介護保険特別会計予算
- 平成28年度銚田市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成28年度銚田市公共下水道事業特別会計予算
- 平成28年度銚田市水道事業会計予算

条例等の一部改正

- ◎専決処分の承認について
- 銚田市税条例の一部を改正する条例
- 銚田市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について
- 銚田市行政不服審査会条例の制定について
- 銚田市行政不服審査法に基づく書面等の交付に係る手数料の額を定める条例の制定について
- 銚田市行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理について
- 銚田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 銚田市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 銚田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 銚田市職員の給与に関する条例の一部改正について
- 銚田市環境学習施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 銚田市立学校設置条例の一部改正について
- 銚田市障害児就学指導委員会条例の一部改正について
- 鹿島地方公平委員会共同設置規約の変更について



各議員の賛否が分かれた議案等を掲載

会議名	議案名	議員名		井川	渡辺	亀山	岸田	二重	郡司	小沼	根岸	小沼	水上	入江	岩間	井川	米川	友部	山口	田口	堀田	高野	倉川	採決結果	
		反対討論	賛成討論	倫士	拓哉	彰	一夫	茂兵衛	功	勝	真	幸義	美智子	晃	勝栄	茂樹	宗司	政徳	徳	清一	正衛	衛	陽好		
第1回定例会	平成28年度銚田市 一般会計予算修正案 ※市民交流館関連予算を削除 する修正案	—	岸田	○	●	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	議	●	●	●	●	○	●	否決	
	平成28年度 銚田市一般会計予算	高野	友部・倉川	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	●	議	○	○	○	○	●	○	可決	
	平成28年度 銚田市国民健康保険 特別会計予算	高野	倉川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決	
	平成28年度 銚田市後期高齢者医療 会計予算	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	●	○	可決
	銚田市立学校設置条例の 一部改正について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	●	○	可決
	財産の取得について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	●	○

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席 退：退席

平成27年度補正予算

- 平成27年度銚田市一般会計補正予算(第8号)
1億5885万6千円の減額
- 平成27年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
1億5139万4千円の減額
- 平成27年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
25万3千円の減額
- 平成27年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
22万5千円の増額
- 平成27年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
9万7千円の増額
- 平成27年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
18万8千円の増額
- 平成27年度銚田市水道事業会計補正予算(第1号)
2774万5千円の減額

訴えの提起

- 訴えの提起について

人事

- 銚田市農業委員会委員の任命について(24件)

財産

- 財産の取得について

その他

- 市道路線の変更について(2件)
- 銚田市公の施設の指定管理者の指定について
(銚田市営新銚田駅前駐車場)

請願

- △TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

議員提出議案

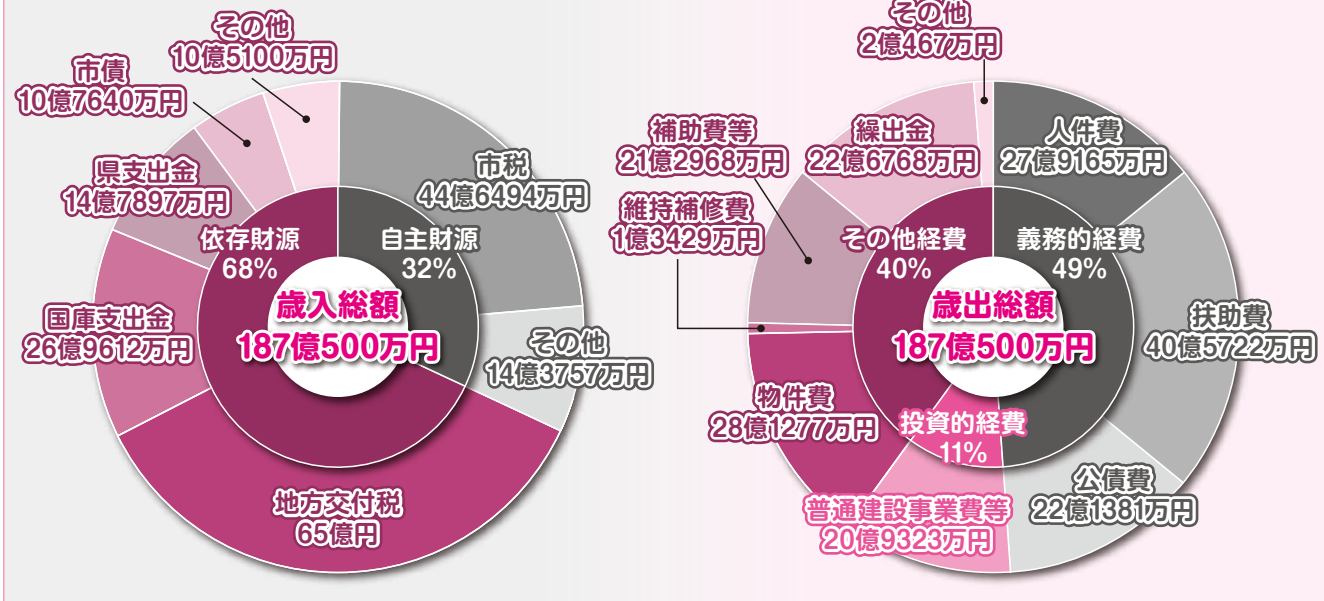
要望書の提出

- 要望書の提出について



一般会計予算は前年度比11.3%減の187億500万円

◆平成28年度一般会計予算の構成



- ### 平成28年度の主な事業
- (仮称)銚田市民交流館整備事業 2億5568万円
 - 全国メロンサミット開催事業 2748万円
 - 銚田北小学校スクールバス運行事業 6887万円
 - 第3子以降保育料助成事業 1億200万円
 - 第3子以降幼稚園授業料助成事業 2400万円

平成28年度の一般会計予算は前年度に比べて11.3%減の187億500万円となりました。前年度に比べて扶助費が増えたものの、銚田北小学校整備事業や小・中学校耐震補強事業が完了したこと及び道路整備事業が減少したことなどにより普通建設事業費が大幅に減ったことが主な減額の理由です。

また、特別会計、水道事業会計予算は、合わせて1.5%の増となりました。介護サービスの利用者が増えたことなどにより介護保険特別会計予算が増えたことや公共下水道・農業集落排水の施設整備の実施などにより、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業の予算が増えたことが主な理由です。

一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせた予算は前年度比5.6%の減となりました。

○平成28年度各会計予算

会計名	今年度予算額	前年度予算額	増減	前年度比	
一般会計	187億 500万円	210億 9000万円	△23億 8500万円	△11.3%	
特別会計	国民健康保険	93億 514万円	93億 2484万円	△ 1970万円	△0.2%
	後期高齢者医療	4億 4095万円	4億 3974万円	121万円	0.3%
	介護保険	45億 1935万円	44億 321万円	1億 1614万円	2.6%
	農業集落排水事業	4億 8422万円	4億 4568万円	3854万円	8.6%
	公共下水道事業	7億 140万円	6億 226万円	9914万円	16.5%
水道事業会計	19億 5743万円	19億 3664万円	2078万円	1.1%	
合計	361億 1349万円	382億 4238万円	△21億 2888万円	△5.6%	



予算特別委員会で 平成28年度予算案を集中審議

付託事件

議案第1号	一般会計予算
議案第2号	国民健康保険特別会計予算
議案第3号	後期高齢者医療特別会計予算
議案第4号	介護保険特別会計予算
議案第5号	農業集落排水事業特別会計予算
議案第6号	公共下水道事業特別会計予算
議案第7号	水道事業会計予算

◆委員構成◆

委員長	水上美智子							
副委員長	友部政徳							
委員	井川倫士	渡辺拓哉	山本昌勝	岸田一夫	田嶋茂樹	根井高野	勝栄衛	亀山正勝
	二重茂兵衛	郡司晃一	小沼幸徳					
	小沼幸徳	入江清一	山口陽好					
	倉川陽好	田口清一	倉川陽好					

【審査経過】

総務部所管事業（仮称）鉦田市民交流館整備事業について、管理運営費に関する質疑を行いました。管理運営費を極力減らすため、ボランティアの活用などを検討することでした。

市民部所管事業 鹿行広域事務組合ごみ処理事業について、広域一般廃棄物ごみ処理施設の供用開始時期についての質疑を行い、基本構想での目標の平成33年度より1・2年ほど遅れるのではないかと回答を受けました。

産業経済部所管事業 ふるさと鉦田応援寄附記念品事業などの質疑を行い、当該事業の返礼品の種類をより充実させることを要望し、また、体験型の返礼品を加えてはどうかと提言しました。

農業委員会所管事業 農業委員会費が約900万円増額になっている理由について質疑し、平成28年度から新たに設置される農地利用最適化推進委員の報酬が主な理由であるとの回答を得ました。



建設部所管事業

市道維持補修事業 市道維持補修事業について質疑を行いました。道路の維持補修は区長からの要望に基づいて行っているのかという質疑に、要望に沿って進めていきたいが、排水の関係で対応が難しい場合もあるとの回答がありました。

上下水道部所管事業

公共下水道事業 公共下水道事業の全体計画の見直し業務について質疑しました。全体計画の見直しは、事業計画に入っていない南中学校区統合小学校などを計画に含めるため必要とのことでした。

健康福祉部所管事業

乗合自動車 乗合自動車について質疑を行いました。現在、大洋地区と鉦田地区の一部での運行であるが、市内全域を対象にしてほしいと要望しました。

【主な討論】

教育部所管事業 大洋中学校区統合小学校整備事業について質疑を行いました。統合小学校候補地選定委員は大洋地区全域から15名ほどを選定し、委嘱することを考えているとのことでした。

議案第1号の討論では、学校数を極端に減らす小学校統廃合や個人情報漏えいの懸念があるマイナンバー制度が含まれていること、（仮称）鉦田市民交流館の建設は延期をすべき等を理由とした反対討論があり、対して、子育て事業や人口減少対策事業などの重要な施策が計上されているため賛成との討論がありました。

【審査結果（採決）】

議案第1号は、賛成9、反対9の可否同数となり、委員長の裁決により可決となりました。議案第2号・議案第3号は賛成多数により可決、議案第4号から議案第7号は全会一致で可決となりました。



予算特別委員会(3月14日～16日)の主な質疑

全国メロンサミット

について

問

6月に開催される全国メロンサミット in ほかたにおいて、6月6日をメロンの日として制定することですが、なぜその日をメロンの日に選んだのか理由をお伺いします。

答

サミットに参加するおおむねの産地において、6月上旬が市場に出回る最盛期であるということ、メロンの形がつの部分も含めると6という数字に似ているという2点から6月6日を選びました。メロンの日の制定により消費喚起を図ることができればと思います。

提言

6月6日はロールケーキの日でもありますので、メロンの日とロールケーキの日を合わせてメロンのロールケーキをつくってみるなどすればより大きく消費喚起できると思いますので、いろいろな施策を考えていただければと思います。

身体障害者

手帳交付事業

について

問

身体障害者手帳交付事業は、今まで茨城県が行っていた事務が市へ権限移譲されたものでありますが、市が行うことでのメリットはどのようなものがありますか。

答

業務として、身体障害者手帳の交付申請等の受理や障がい程度の審査・認定、手帳の作成・交付などがあります。県から移譲されたことによって、審査会の開催回数を増やすことができ、申請から認定までの時間が短縮され、市民サービスの向上が図れるものと考えています。

英語指導事業

について

問

英語指導事業について、どのような方が指導に当たり、何名で行っているのか。また、どのような成果が出ているのか伺います。

答

小学5・6年生については、市で直接雇用しているALTと担任で指導に当たっています。歌やゲーム等を中心に活動をし、単なるゲームではなく思考を伴うゲームになるように工夫をしております。1年生から4年生については、業者委託のALTが各小学校を回り、月に1・2回ほど指導しております。中学に入ってからALTや英語の先生と臆せず英語を話せるなど成果が出てきているところです。



平成28年第1回定例会

〈本会議〉
3月11日

議案第56号 財産の取得について

○提案趣旨

本案は学校用地として使用する土地の財産取得について、議会の議決を求めるものです。土地の所在は、銚田市畑田字江戸山973番地ほか17筆で、面積は4万8421平方メートルです。取得金額は、土地2億2037万3880円、立竹木補償費273万1537円となります。

主な質疑

問

取得する用地の形状が一部いびつなところがあり、管理運営上あまり望ましいことではないと思うかがか。また、土地の所有者の1人と仮契約が締結されていない段階で、学校用地の財産取得の議案が提出された理由は。

答

用地の一部がいびつな形をしているとの件ですが、

隣接している土地が取得できたことから、少し解消することができました。また、土地所有者の全てと仮契約ができていない段階で議案を提出した理由については、統合小学校の整備にあたっては、今後、ボーリング調査などの業務のほか埋蔵文化財の試掘調査なども行わなければならない、全員との仮契約を待つてからの提案で

すと、事業の開始も遅れてしまい、平成31年4月開校の計画が実現できない可能性も出てきてしまいます。未契約者の土地は試掘調査を

行う必要が無い場所ですので、事業にできるだけ早く取り組めるよう提出するものです。

反対討論（高野 衛議員）

議案第56号は、銚田南中学校区統合小学校用地として4万8421平方メートルを取得する内容です。銚田南中学校区の小学校統合は、7つの小学校を1つに統廃合することになっており、あまりに極端な計画であります。少子化が問題となっている今だからこそ既存の校舎も含め、利用しながら一クラス20人から25人くらいの少人数学級を実現することに踏み出すべきと考えます。以上の理由から議案第56号に反対いたします。

賛成討論（入江 晃議員）

本件は、銚田市公立学校施設再編計画に基づき銚田南中学校区の小学校を統合するためのもので、平成31年度開校を実現するために、学校候補地選定委員会による候補地選定作業に始まり、境界復元業務、地形測量業務、立木補償調査業務、ボーリング調査業務、不動産鑑定業務、これらの委託業務を進めるとともに、農地法第5条の許可、税務署協議、そして地権者との仮契約を行ってきたものです。今後、統合小学校整備をスムーズに進めるためにも、用地取得を早急に行っていたいただきたいと考えています。以上のことから、本案について賛成いたします。



平成28年度第1回定例会

〔本会議〕
3月24日

議案第1号

平成28年度一般会計予算に対する修正案

(発議者／井川 倫士議員、賛成者／岸田 一夫議員、郡司 功議員)

○提案趣旨

平成28年度銚田市一般会計予算は、(仮称)銚田市民交流館整備事業の予算が計上されている。市民の文化活動とその発展は、地域力を向上させる上で不可欠の要素であるが、銚田市における文化政策のビジョンはこの10年間何ら示されておらず、ハコモノ建設に向けた事業を進めている。

また、整備事業における市民の理解度が依然低いままであるなど、議論・検討が不十分であることは否めない。以上の理由から、当事業に関する予算執行については延期が妥当であるため、平成28年度一般会計予算の中から、(仮称)銚田市民交流館整備事業に関する予算を全額削除する。

主な質疑

問 12月の議会において、(仮称)銚田市民交流館

建設事業も記載されている銚田まちづくり計画の変更に
ついて可決しておりますが、

今回の修正案は、(仮称)銚田市民交流館に関する予算を削除する内容です。議会で議決したものを2か月ほどで翻した理由は、

答

12月の議会で認めた部分もありますが、詳細な内容が示されたのは平成28年1月になってからです。これまでも予算の縮減や稼働率を上げるための提案を

行い、(仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会でも協議しております。それらの経過から、まだまだ議論が不十分であると判断し修正案を提出しました。

原案賛成討論(友部 政徳議員)

平成28年度一般会計予算は、前年度から11.3%の減となっておりますが、人口減少対策や(仮称)銚田市民交流館整備や合併関連道路整備などの合併特例債事業の予算が計上されており、さらに、市民サービスの維持向上、産業の振興に向けた施策も予算計上されておりますので、賛成の意を表します。

原案賛成討論(倉川 陽好議員)

合併特例債事業や国の地方創生に関する施策、基幹産業である農業のイメージアップのための政策、一大イベントであるメロンサミットの開催、茨城国体の会場整備、ラムサール条約登録湿地涸沼を活用した観光の推進など幅広く予算計上されておりますので、本案に賛成いたします。

原案反対討論(高野 衛議員)

平成28年度の一般会計予算は、(仮称)銚田市民交流館事業や軽自動車税の増税、個人情報漏えいなどが危惧されるマイナンバー制度、7校を1校にする極端な計画の銚田南中学校区統合小学校整備事業、関係する漁協などが反対している霞ヶ浦導水事業の予算が計上されており、150億円になる基金も市民サービスに活用すべきであることから反対いたします。

修正案賛成討論(岸田 一夫議員)

(仮称)銚田市民交流館整備については、市に文化政策のビジョンがないこと、進入路を含めて50億円を超える建設費と高額な維持管理費に対する住民の不安を払しょくすることに時間をかける必要があること、現状を踏まえた身の丈に合った施設にするための検討がさらに必要であることから市民交流館の建設は延期することが妥当であります。以上の理由から本修正案に賛成いたします。



市政を問う 会派代表者質問

3月7日に2会派が代表者質問を行いました。

平成28年第1回銚田市議会定例会 会派代表者質問

会派名 質問者	質問事項
志政会 田口 清一	1. 人口減少対策について 2. (仮称)銚田市民交流館建設事業について 3. 農産物のブランド化・販売力の強化について
公明党 銚田市議団 水上 美智子	1. まち・ひと・しごと創生総合戦略関連施策について 2. 一人ひとりの健康と安心を支える地域づくりについて 3. 自然を感じる快適で安全な生活空間づくりについて 4. 個性と多様性を尊び、地域文化をはぐくむ人づくりについて 5. 市民を主役とする協働のまちづくりについて

会派代表者質問とは？

会派代表者質問とは、特定の議員が会派を代表して、長や行政委員会が執行する事務に対し、質問することを行います。

農産物のブランド化・販売力の強化について



志政会 田口 清一 議員

問 地域経済の活性化を図るため、農産物のブランド化・販売力の強化は、大変重要であります。

平成28年6月に開催される全国メロンサミットinほこたを契機とした、落ち込んでいるメロン消費の喚起策と販路拡大施策について伺います。

答 【市長】メロンサミットでは、新たな需要喚起策として、メロンの日の制定、全国の

まち・ひと・しごと創生総合戦略関連施策について



公明党 水上 美智子 議員

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略関連施策について、重点・新規施策を大きく3点掲げていますが、どのような視点で施策を推進していくのか伺います。

答 【市長】第1の子育て環境の充実としては、若い世代の結婚、妊娠、出産、子育て等の希望をかなえる視点から子育てしやすい環境づくりや多子世帯に対する支援の充実を図ってまいります。

メロン産地等と連携した売り場展開、有名店、有名パティシエ等による特製メロンスイーツの開発、首都圏自治体等と連携したイベント企画などを予定しています。

メロンの日については、バレンタインデーや恵方巻などのように今までなかった風習が全国に広まって、新たな需要が生まれたものにならない、制定を目指すもので、新たな消費喚起を図る契機にしたいと考えております。

また、販路拡大施策として、県や日本貿易振興機構(ジェトロ)茨城、市内JA等と連携し、海外へも販路拡大を図ってまいります。

さらに、ジャパンブランド育成支援事業を活用し、銚田市産の農産物を使用した海外向け加工品開発、専用パッケージ等を考案し、海外における銚田ブランドを発信していきたいと考えております。

第2の農産物のブランド化、販売力強化の推進では、農業を中心に産業の活性化を図り、安定した雇用を創出するため、農業のブランド力の向上や流通促進を図ってまいります。

第3のラムサール条約登録湿地酒沼を生かした広域事業としては、人の地域内への環流と人の流れを創造する視点から、地域資源の活用による交流人口の拡大を図ってまいります。

再質問 これらの施策の中で、銚田市に住み、暮らす人をふやすことが一番の重点課題ということで、子育て環境の充実を第1に挙げていると思いますので、市長の意気込みを伺います。

答 【市長】子育て支援の対策として保育所の充実などを行っていました。足りなかった部分を今回の施策で補充し、少しでも人口減少の抑制につながるよう努めてまいります。



ここが聞きたい! 一般質問

平成28年 第1回 鉾田市議会定例会一般質問通告順

議員名	質問事項
渡辺 拓哉	1. 仮称市民交流館の建設費について
亀山 彰	1. 茨城国体について 2. 地域産業振興施策について 3. ラムサール条約湿地涵沼について 4. まち、ひと、しごと創生総合戦略について
岸田 一夫	1. 基金について 2. (仮称)鉾田市民交流館について 3. うまかっぺフェスタについて 4. メロンサミットについて 5. 地方交付税について 6. 鉾田市職員組合からの要望について
倉川 陽好	1. 北浦の水質の現状と対策について 2. 交通量調査について 3. 朝市トークについて 4. 補助事業について 5. 合併特例債について
水上 美智子	1. ふるさと納税について 2. 道路整備について 3. 市民の健康づくりについて 4. 高齢者支援について 5. 子育て支援について
二重作 茂兵衛	1. 外国人の野菜出荷について 2. 半原地内の道路整備について 3. デマンドバスの運用追加について
井川 倫士	1. 本市のまちづくり並びに地域・職場における女性の活躍推進について 2. 公共施設の管理及び活用のあり方について 3. (仮称)鉾田市民交流館整備事業の福利厚生施設以上の政策効果について

議員名	質問事項
根寺 眞	1. 「いのち」と「暮らし」の先進都市としての健康増進・食育推進計画について 2. (仮称)鉾田市民交流館建設基本設計住民説明会について 3. 公の施設の広域利用に関する協定について
高野 衛	1. (仮称)鉾田市民交流館建設について 2. 自衛隊適齢者名簿作成の提出問題について 3. 公契約条例の制定について 4. 地球温暖化対策について 5. 高齢者介護問題について 6. がん対策について
入江 晃	1. 国土強靱化地域計画の策定について 2. 介護保険住宅改修費の受領委任払い制度について
友部 政徳	1. 鴨対策について 2. 北浦からの揚水施設について 3. 安塚地内の排水対策について

ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①鉾田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、6月頃の予定です。
本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ |

検索





地域産業の振興のため、どのような取り組みをしているか

亀山 彰 議員



(仮称)銚田市民交流館の建設費についての考えは

渡辺 拓哉 議員

問 小規模企業が持続的な発展を図れるよう地域企業の育成について検討することとしたが、平成28年度の新しい事業施策はありますか。

答 【産業経済部長】平成28年度においては、まず事業者等の意向を広く取り入れるための組織づくりを商工会等の経済団体を交えて協議を進めたいと考

問 (仮称)銚田市民交流館の建設費は約50億円とされていますが、市民が不安に思っているのが、建設を進めていく過程で予算が足らなくなり、50億円以上がかかるのではないかとということだと思います。

答 大きい事業を進めていく上でリスクは避けられませんが、しかし、これから経済が衰退していく日本で、物を買ってお金を使って幸せを買う生き方はできなくなると思われます。そのよう

次に、ふるさと納税品についてですが、現在までに市内特産品31品目を返礼品として取りそろえ、寄附金額は503万3000円で、昨年度の約19倍、寄附件数は351件で、約18倍の寄附をいただいている状況です。

しかし、先進的な自治体と比較すると返礼品が少ないこともあり、より一層の返礼品の募集とともに、発掘及び開発にも努めていきたいと考えています。また、平成28年度の取り組み

な中で、(仮称)銚田市民交流館が人々の交流の中心となり、銚田市民の心のよりどころとなっていけば、すばらしいことではないでしょうか。

もし(仮称)銚田市民交流館の建設が延期になった場合、今後建つことはなくなると思われます。周辺市町の文化施設を使ってもよいだろうという意見もあるかもしれませんが、銚田市にあるということが、市民が交流をする上で大事なことです。そして、人との

みとして、クレジット決済を4月からの運用に向けて進めています。

再質問 銚田の人材、技術、観光を調査する、そういった意味のマーケティングをしていただきたい。まずは自分のところに何があるということ把握していただければ、新たに施策は生まれませんでしょうか。この地域の中に眠っているいろいろな財産を把握して、適材適所に向けられるような縁結びができれば経済も活発化していきます

交流が人を成長させるのです。子どもたちの成長こそがこの銚田市の発展に必要な不可欠なものではないでしょうか。

答 【市長】2月の13、14、20、21日の4日間をかけて、4つの中学校区で、(仮称)銚田市民交流館の基本設計の概要につ

し、ふるさと納税にもいろいろな商品が集まると思っています。

答 【産業経済部長】銚田市の資源をどう活用するか、十分にマーケティングを行いながら、小規模企業が持続可能になる施策を考えていきます。

また、商工業は時代の流れによって進化、変化します。そういった意味でも、マーケティングが必要だと思いますので、それを踏まえて新たな事業展開を図っていききたいと考えています。

いて住民説明会を開催し、397名の参加がありました。説明会では、建設事業費や維持管理費など金額に係る質問が何件ありましたが、そのときに、建設事業は50億円を超えないよう実設計においてさらに精査をして、事業費の縮減に努めていきたいと話させていただきました。今後、実設計において少しでも経費が下がるように、コンサルタントにも話をしていくところであります。





交通量調査など、交通安全に対するの本市の取り組みは

倉川 陽好 議員

問 鹿行大橋の開通により、大型車が通行可能になったことで、神栖、鹿嶋方面からの車や他県ナンバーの車の通行も増加しているようです。また、海岸の国道等も交通量の増加により、交通事故が多発している現状もあるようです。さらに、これから高速道路等の開通も控えています。現在、銚田市では交通量等をどのように把握し、対策に当たっているのかお尋ねします。

答 【建設部長】市が管理している道路の交通量調査は行っていませんが、国が実施している道路交通センサスの中で、おおむね5年ごとに高速道路、国道、県道を対象として交通量及び道路現況等を調査しています。国道354号については、新たな鹿行大橋の開通により車の流れが大きく変わってきています。また、東関道水戸線の(仮称)銚田インターチェンジの開通による車の流れがどうなるの

か、市道への影響はどうかといったことも十分に考えていかなければなりません。独自の交通量調査となると、難しいと思います。これらを踏まえた中でどのように対策を図るべきか、国、県とも連携を図りながら市道の整備に努めていければと考えています。

再質問 国道354号には、物流の関係で鹿嶋、神栖から多くの車が通ります。また、サッカーの試合があったときには、車が数珠つなぎに

なっています。さらに、他県から鹿行大橋を渡って大竹の海浜公園等に行く車もあります。このように交通量の増加による交通事故等の問題もあるので、これからの交通安全対策について伺います。

答 【総務部長】橋が開通したことで、交通量がふえ、大型車もふえているため、銚田警察署と協議の上、市民の安全のために標識を設置するなど、十分に安全対策を講じていきたいと思えます。



本市の基金残高と、基金の使途について

岸田 一夫 議員

問 基金について、まず本市の基金残高及び鹿行4市の残高を比較してどうか伺います。また、県内自治体で基金残高が最高、最低の市町村をそれぞれ伺います。さらに、基金を道路整備等に運用できないかについて伺います。

答 【総務部長】平成26年度決算ですと、一般会計ベースで基金現在高は147億4000万円、これに土地開発基金4億8000万円をプラスすると152億2000万円です。また、平成27年度は、160億9488万円を見込んでいます。次に、基金残高は鹿行5市の中では、神栖市、潮来市に次いで3番目です。県内で平成25年度決算の基金残高最高額は日立市の239億9000万円、最低が境町の10億1000万円となっています。

【市長】市道整備は財源があるときにだけ集中して行うものではなく、未来永劫続く事業であると考えていますので、毎年の予算の範囲内で継続的に実施して

再質問 本市の基金残高は160億円と少し多いのではないのでしょうか。基金を積み立ててばかりで、道路整備などの市民サービスがおろそかになっているのではないかと感じます。

また、市道12号線については、途中で終わりにして今後やらないと聞いているが、なぜ、できない道路にお金をかけて、他の多くの要望が出ている道路をやらないのか伺います。

反問 【市長】市道12号線を今後やらない、できないというのは、どこでどのような話で聞いたのですか。地区の市民の方から、市からそのような話があったと聞きました。が、もし違っていたら、今後どのように進めるのか伺います。

答 【市長】地権者の反対や相続の問題で、できないところが確かに数か所ありますが、迂回してつくるなどの検討をしながら進めていく考えです。



震災で壊れた道路の整備についての進捗状況は

二重作 茂兵衛 議員

問 半原地区の道路整備について伺います。東日本大震災も今年で5年目を迎えます。本市も震災後の復興がなされていきますが、まだ家屋にブルーシートがかかけられているところも見受けられます。道路についても東日本大震災の影響によって、多くの箇所で舗装が壊れていたり、段差が生じていたりしています。そのような中で、半原地区にある半原文庫前の道路も例外ではなく、

道路の破損が生じております。この道路については、農家の方々が農作業にトラクターで出かけることも多く、危険であると考えております。以前は、玉造へ抜ける道路として往来もありましたが、現在は市道13号線が開通し、交通量は減りました。しかし、農家の方々にとっては重要な道路となっておりますので、整備する考えはあるのか伺います。

答 【建設部長】道路整備については、指摘の箇所については、指摘の箇所については、修繕工事を予定してまいります。
再質問 震災で壊れた道路等の復旧には全て着手し、そしてもう道路整備が完了したのか伺います。
答 【建設部長】震災関係の道路につきましても、建設課が把握している部分としては一応全てが完了したということでご理解をいただきました。

提言 道路の整備は大いと思っています。ただ、ご指摘の箇所のようには、把握できていない部分はあるかもしれませんけれども、道路建設課で把握している部分については整備が完了したと思っています。
【提言】 体が終わったというところで一安心というところですので、また道路が壊れているというところで要望がありましたら、順次修理をしていただければと思います。



子育て支援の充実についての本市の取り組みは

水上 美智子 議員

問 子育て支援について、行政機関や相談機関をスムーズに利用できるよう、ワンストップサービスの充実を図っていただきたいと思えます。現在、本市としてどのような取り組みが伺えます。また、地域の子どものための子育ての充実を図る一つの策として、本市において高齢者と子どもたちの交流事業をどのように行っているか伺います。

答 【健康福祉部長】ワンストップサービスの充実を図ることについては、現在は保健センターでは保健師等の専門職員が、また福祉事務所では家庭児童相談員等がそれぞれ連携をとりながら相談支援を行っております。今後、関係機関と調整して、ワンストップサービスの拠点となる、子育て世代包括支援センターの平成29年度開設に向けて検討をしていきたいと考えています。
【教育部長】高齢者と子どもたちの交流ができる事業については、生涯学習課では、夏休みの期間、歴史展示施設である「あけぼの館」を開放しています。ボランティアに高齢者の協力を仰ぎ、竹馬や弓矢づくりなどの物づくりを通して交流を図り、子どもたちの豊かな心の育成を目指しています。

また、市内幼稚園、小中学校では、運動会や収穫祭などの機会を捉えて、地域の方々の招待し、昔の遊びを行い、高齢者との交流が行われています。

そして、社会福祉協議会が支援する地域福祉活動推進事業においても、旭地区や大洋地区で、納涼会や敬老会を実施し、三世代交流が行われています。





銚田市の食育への取り組みは

根 寄 眞 議員

問 初めに、地場産品活用飲食店の推進に関する進捗状況を伺います。
次に、学校給食に対する地元農産物使用のさらなる拡充への取り組みについて伺います。
また、食生活改善推進事業の取り組みについて伺います。

答 さらに、食生活改善推進員の活動についても、取り組み状況を伺います。
【産業経済部長】地場産品活用飲食店の推進に関しては、現在、銚田

市産品PR推進店として、市内19事業者、40商品が登録されています。今後も推進店の募集を行い、登録された店舗には、各種宣伝媒体を通じて積極的にPRを行い、銚田市内への集客力の向上を図りたいと考えています。
【教育部長】市内の学校給食で使用する野菜や豚肉等は、銚田市産で賄えるものは銚田市産、賄えない場合は県内産または国内産を購入しています。米についても銚田市産のコシヒカリを調達し、

各学校、幼稚園に提供しています。
また、毎月1回、「ほこたの日」として、地元産の食材を利用した給食の提供に取り組んでいます。引き続き地元産食材の使用割合を高めた献立の作成と、「ほこたの日」の回数をふやす取り組みをし、給食の充実に努めたいと思います。
【健康福祉部長】食生活改善推進事業の取り組みについては、生活習慣病の予防対策の一環として、食を中心とした健康生活の確立を目

的に、各地区において伝達講習会や親子料理教室、学校や幼稚園等では食育事業、保健センター等では開催する健診や健康教室の際に栄養指導等を行っています。
次に、食生活改善推進員の活動ですが、現在169名の方々に参加していただいております。各地区での伝達講習会や親子料理教室の開催、ひとり暮らしの高齢者に食事会を実施し、銚田市産の食材を中心にバランスのよい食生活の普及に取り組んでいます。



(仮称)銚田市民交流館建設事業に対する市長の考えは

井 川 倫 士 議員

問 (仮称)銚田市民交流館に50億円を超える資金を投入する費用対効果はどの程度なのか。
また、副次的にどのような効果を考えているのか伺います。

答 【市長】金額的に費用対効果を示すのは無理がありますが、この施設においてさまざまな活動を行うことで、地域や世代間のつながりが生まれ、市民が同じ目的に向かう市民協働のまちづくりの実現につながり、金額でははかり知れない効果が期待

できると確信しています。
再質問 市長は銚田の文化を何と捉えているでしょうか。
答 【市長】地域の郷土芸能等も、絵画や書道なども文化だと思っています。また、公民館の活動も文化だと思っています。文化というのは、人によっていろいろな捉え方があると思っています。

文化というのは、暮らしのスタイルとかそういったもので、農業や自然にちなんだ文化を体現できるような施設こそが、銚田の文化だと思っています。それを考えたときに、ホール等は現状では必要性があるとは思いません。
また、文化事業への予算措置がこの10年ほとんどとられていないことから、(仮称)銚田市民交流館建設は延長して、まずは中央公民館を改修し、精いっぱい文化事業をやり、その後に建てたほうが絶対にはいい施設になると思いま

すが、いかがですか。
答 【市長】この施設を待っている方も当然いますので、建設したいと思っています。
次に、中央公民館は耐震工事だけでもかなりの金額になります。大きな金額をかけて改修して、すぐ市民交流館をつくるのは無駄だと思っています。昨年の議会でも、設計費と用地の購入費を承認されています。手順を踏んでこまごまやってきたので、ご理解いただきたいと思います。





介護保険住宅改修費
の受領委任払いを実施
する考えはあるか

入江 晃 議員

答 【健康福祉部長】 鉾田市の現状としては、介護保険による住宅改修費の受領委任払いは実施しておりません。これは、介護保険の給付方法が基本的に償還払い方式で実施される

ためです。しかしながら、他の市町村では低所得者の一時的な負担を軽減するために受領委任払い方式を導入し、通常の償還払い方式と受領委任払い方式のいずれかを選択できるようになっています。この制度の実施にあたっては、介護保険料の滞納がないことや、事業所詳細を登録するなどの要件を付す方法や、給付券を利用者へ発行する方法など、自治体により異なっているようです。市としては、低所得者の負担をできる限

答 【健康福祉部長】 今まではいったん全額を利用者に支払っていただいていたから、自己負担分を除く保険給付分が後で償還され

【市長】 担当と協議をして、なるべく早く導入できるように進めていきたいと思



(仮称)鉾田市民交流館
の建設延期と住民投票
をする考えは

高野 衛 議員

問 (仮称)鉾田市民交流館の建設について今年2月の4会場で市民説明会が実施されました。住民の方からはどのような意見が出されたのか、お尋ねします。

答 2点目、(仮称)鉾田市民交流館建設事業費49億9400万円は、平成26年度の住民説明会に比べて、約15億円膨らむ結果となっています。身の丈に合った簡素で使い勝手のよい文化施設は必要と思いますが、財政上のリスクを考慮し、労

務費や建設資材の高騰が落ちつくまでの間、建設は延期することが現実的と考えますが、考えを伺います。

答 【総務部長】 説明会では、総事業費や維持管理費についての質問が多く出されました。事業費については、今後の実施設計においてさらなる縮減を図っていきます。施設の維持管理費についても、管理運営計画に多くの市民にかかわっていただき、経費の節減を図っていくということでご理解をいただいても

のと考えています。また、一部では建設に反対という意見もありましたが、一方では一日も早い完成を待ち望んでいるという声も多数いただいたと認識しています。

建設コストについては震災以降上昇を続けてきましたが、現在は落ちついてきている状況です。東京オリピックの後に建設コストが下がるという保証もないことから、総合的に判断をして、事業を延期する考えは今のところはありません。

再質問 住民の皆さんのいろいろな意見もありますし、住民投票できちんと判断をしてもらうというのが、最終的な決断の方法だと思いますので、ぜひ住民投票を考えていただきたいと思

答 【市長】 住民投票は今の段階では考えていません。また、財政的なものは基金また特例債等を使いな



主な議会の動静

2月

- 1日 議会運営委員会
- 1日 全員協議会
- 1日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 2日 (仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会
- 4日 厚生文教常任委員会
- 6日 議会報告会
- 9日～10日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会行政視察(鹿児島県)
- 16日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会(筑西市)
- 25日 会派代表者会議
- 25日 議会運営委員会
- 29日 (仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会

3月

- 2日～24日 平成28年第1回定例会
- 2日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 14日～16日 予算特別委員会
- 17日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会(百里基地)
- 18日 経済建設常任委員会
- 22日 総務企画常任委員会
- 22日 厚生文教常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 24日 議会広報編集委員会
- 25日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会要望活動(北関東防衛局)
- 29日 小学校跡地利活用に関する特別委員会

4月

- 15日 県東地区市議会議長会定例会
- 18日 議会広報編集委員会
- 19日 茨城県市議会議長会定例会
- 22日 百里基地周辺市町協力会総会
- 22日 鹿行政経懇話会
- 25日 市町村長・市町村議会議長会
- 25日 総務企画常任委員会
- 26日～27日 第82回関東市議会議長会定期総会
- 28日 小学校跡地利活用に関する特別委員会行政視察(千葉県)



安塚地区の揚水機場の名義と対応方法は

友部 政徳 議員

問 現在、安塚地区の北浦湖畔に、新宮土地改良区の揚水機場が残っております。また、県道沿いに鉄管が上の畑に向かって伸びており、その先、青山地内には中継所の機場があります。この機場の周りには網が張ってあり、危ないから入ってはいけません。銚田市の看板があります。また、そこまで行く途中には、幅約3メートルの水路が地表面に出ており、全体として相当の面積になると思います。これらは現在誰

答 【産業経済部長】北浦湖畔に残っている新宮土地改良区の揚水機場については、当時北浦の築堤の際に、現在の独立行政法人水資源機構が補償により現在の場所に揚水機場を移設したもので、揚水機場建物等は、新宮土地改良区へ引き渡されましたが、底地は、現在も水資源機構の名義となっております。揚水機場から伸びる揚水経路の名義ですが、揚水経

再質問 新宮土地改良区の名義となつてしまふ。それを回避するにはどういう方法があるのか伺います。

路については開水路の部分と暗渠の部分に分かれています。開水路の部分については現在新宮土地改良区の名義となっております。また、暗渠の部分は民有地の下に埋設されていることから、その土地の持ち主の名義となっております。

答 【産業経済部長】新宮土地改良区は今休眠状態で、当時の19名の役員のうち、現存している方は1名だけです。そこでまず新宮土地改良区内の農地の所有者全ての方を洗い出し、そこから当時の定款により総代を40名選出、さらには役員として理事16名、幹事3名を選出して、新たに新宮土地改良区を発足させて、そこから財産処分をするという手続が必要になると思います。



委員会活動報告

議会運営委員会行政視察

開催日：平成28年1月21日(木)～22日(金)

議会改革の取り組みを調査・研究するため、先進的に議会改革を進めている兵庫県加西市議会へ視察を実施しました。

加西市議会では、平成19年度から議会基本条例の制定を主な目的として議会改革を進めており、条例には市民の声を取り入れようとの方針から、全市民を対象としたアンケート調査等を実施して広く意見を集め、平成22年の条例制定となりました。平成26年に議会運営委員会を中心として条例を細かく検証し、条例の見直しが行われていました。

また、議会報告会は参加者の減少やマンネリ化から、市民との意見交換会と名称を変更し、市民との意見交換に重点を置くようにしたとのことでした。

今回の行政視察の成果を今後の議会運営委員会の活動に活かしてまいりたいと思います。



原子力施設の安全に関する調査特別委員会行政視察

開催日：平成28年2月9日(火)～10日(水)

原子力施設の具体的な安全対策及び原子力事業者が行う施策について、また行政が実施する原子力防災訓練の取り組みについて調査・研究を行うため、九州電力川内原子力発電所並びに鹿児島県日置市へ視察を実施しました。

九州電力川内原子力発電所では、発電所の概要や福島第一原発の事故を踏まえた安全対策の説明を受けました。津波対策の防潮堤を始め、異常時の電源・水源の確保、冷却水を送るポンプの確保など何重もの対策を施していました。

日置市では、九州電力川内原発の重大事故を想定して実施した防災訓練について説明を受けました。訓練の結果、市民への情報伝達手段や避難集合場所に適した大きさのバスの確保、原子力災害発生時の避難方法の啓発などの課題が把握できたとのことでした。

本市にも原子力施設が所在・隣接しており、防災対策には万全を講じる必要があることから、今後、市が行う原子力行政に対し住民の健康と安全確保を図るため、執行部に対して提言をしていきたいと思えます。



委員会活動報告

百里基地・茨城空港に関する

調査特別委員会

開催日：平成28年3月17日(木)

本市の懸案事項である航空自衛隊百里基地の航空機騒音問題等について、百里基地を調査・研究することで、本市議会における今後の委員会活動に生かすべく視察を行いました。

視察にあたり、百里基地隊員から丁寧な説明を受け、基地の概要から、日本を取り巻く安全保障環境や航空防衛力の役割、百里基地を含む航空自衛隊の任務や装備、中国空軍や北朝鮮の動向など、百里基地の必要性や役割など説明を受けました。

次に、F15及びF4の航空機の実機を視察しながら、パイロットから機種の特徴などの説明を受けました。

今後においても従前と引き続き、航空機騒音による生活環境への悪影響や不安解消に向けて、防衛省への要望活動など住民生活の安定と福祉の向上を目指し、委員会活動に取り組んでまいりたいと思います。



経済建設常任委員会請願審査

開催日：平成28年3月18日(金)

国会決議に違反するTPP協定の批准は行わないことを求める「請願第28-1号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」が鹿行農民組合から提出されました。

本請願は、平成28年3月2日の本会議において経済建設常任委員会に付託されましたので、平成28年3月18日に委員会を開催し審査しました。

審査の結果、継続審査となりました。継続審査となった理由としては、鉦田市には本請願者のほか、各種農業団体がある中で、本市議会が意見書を提出するに際しては、広く農業団体または農業者の意見を聴取し、鉦田市の基幹産業である農業に有益となるよう努めなければならず、そのため更に慎重な審査を行う必要があると判断したためです。

各委員会活動状況

所管事務調査等のため各委員会が開催されました。以下、主な議題を掲載します。

- ・ **総務企画常任委員会**
「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略について」
- ・ **経済建設常任委員会**
「経営体育成支援事業(被災農業者向け)について」
- ・ **厚生文教常任委員会**
「健康増進事業について(鉦田保健所長の講話)」
- ・ **小学校跡地利活用に関する特別委員会**
「小学校跡地利活用に対して財政課との協議」



鉾田市議会報告会

平成28年2月6日(土)午後2時から
鉾田市福祉事務所で開催しました。例年を大きく
上回る63名の皆様にご参加をいただきました。

今年度の議会報告会は、市民の皆様の意見をより多く聞くことができるよう意見交換に重点を置く方針で開催しました。議会の審議内容などを報告した後、2会場に分かれて意見交換会を行いました。参加された多くの皆様から活発な質疑がなされ、議会報告会の開催を増やしてほしいとのご意見もいただきました。皆様からのご意見ご要望につきましましては、これからの議会活動に反映してまいります。



議会要望活動

平成28年3月25日(金)に北関東防衛局に対して
要望活動を実施しました。

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会において、再編交付金の交付が平成28年度で終了することなどから、交付延長を求め、要望を行うことを協議しました。要望書の提出については、特別委員会において満場一致で賛成となり、3月11日の本会議においても全会一致で可決されました。要望活動後、北関東防衛局から特定防衛施設の周辺市町村への配慮と要望に沿えられるように対応していくとの回答を得ました。

【要望内容】

1. 特定防衛施設周辺整備調整交付金の算定については、百里基地の運用に起因する障害や危険性を重点的に参入し、交付金の増額を図りたい。
2. 再編交付金は、10年間の期限を付けた特定措置法により交付されているが、法律の執行後においても、当分の間延長して交付されるよう強く要望する。



傍聴者の声



鉦田ロータリー
クラブ会員
加藤 健司

平成28年第1回鉦田市議会定例会を傍聴しました。満席の傍聴の中、議長には緊張感があり、質問する議員も答弁者も真剣なやり取りはとても貴重な体験でした。ただ首を傾げる様な場面や質問もありましたが、それを実際に目の前で見られて、議員の人となり、性格や考え方の一端を知ることができて、また機会があれば傍聴したいと思いました。

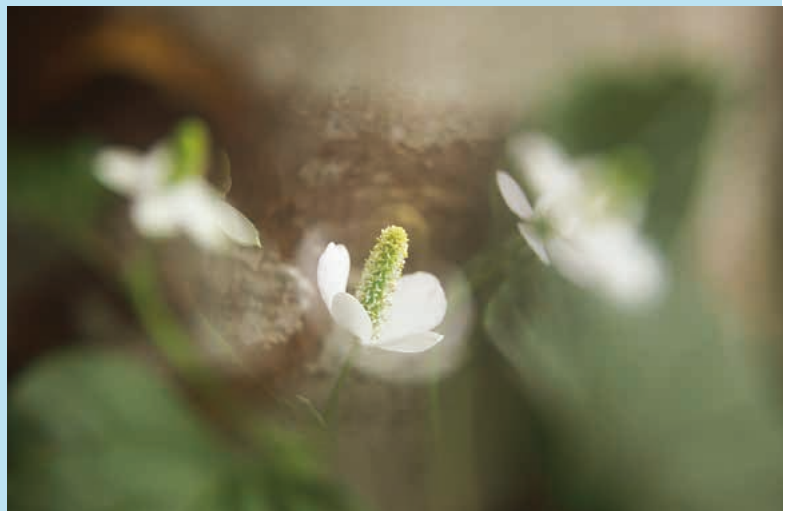
2日間11人の質問者の中で、5人の議員が同じ内容のもので質問がありました。事前にもっと調整はできないものなのでしょうか。

平成28年第2回(6月)定例会日程(予定)

月 日	会 議 内 容
6月7日(火)	本会議 開会
6月9日(木)	一般質問
6月10日(金)	一般質問
6月13日(月)	委員会
6月14日(火)	委員会
6月15日(水)	委員会
6月17日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成28年第1回(3月)定例会の延傍聴者数142名



写真提供：鉦田地区 根本 政勝氏

編集後記

平成28年第1回鉦田市議会定例会が3月2日から24日までの会期日程で行われました。通称予算議会と言われる本会なのですが、白熱して行われ、一般会計予算においては本市の一番の話題となる(仮称)鉦田市民交流館整備事業の修正動議が提出されました。

その中で、議会の傍聴に過去最高の延べ142人の方がおこしくございました。数多くの方が傍聴に来られたのは、市民の皆様が市政に対し、強い関心をお持ちくださったからだと思います。議論の場として多くの皆様に傍聴していただいたことは非常にありがたいことです。

市議会は議決機関、市長は執行機関と呼ばれ、両者の権限・役割は明確に区分されています。今後私たち議員は市民の代弁者として頑張つてまいります。

市民の皆様におかれましても『議会だより』をご覧いただきたく、また、これからも市政に関心をお持ちいただき、議会の傍聴に足を運んでくださいますようお願いいたします。

(岸田 一夫委員記)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 郡司 功 |
| 副委員長 | 井川 倫士 |
| 委員 | 小沼 幸義 |
| | 岸田 一夫 |
| | 亀山 彰 |
| | 渡辺 拓哉 |